



# 国立駅南口駅前広場基本設計（案） 市民説明会資料

—追加開催—

2025（令和7）年

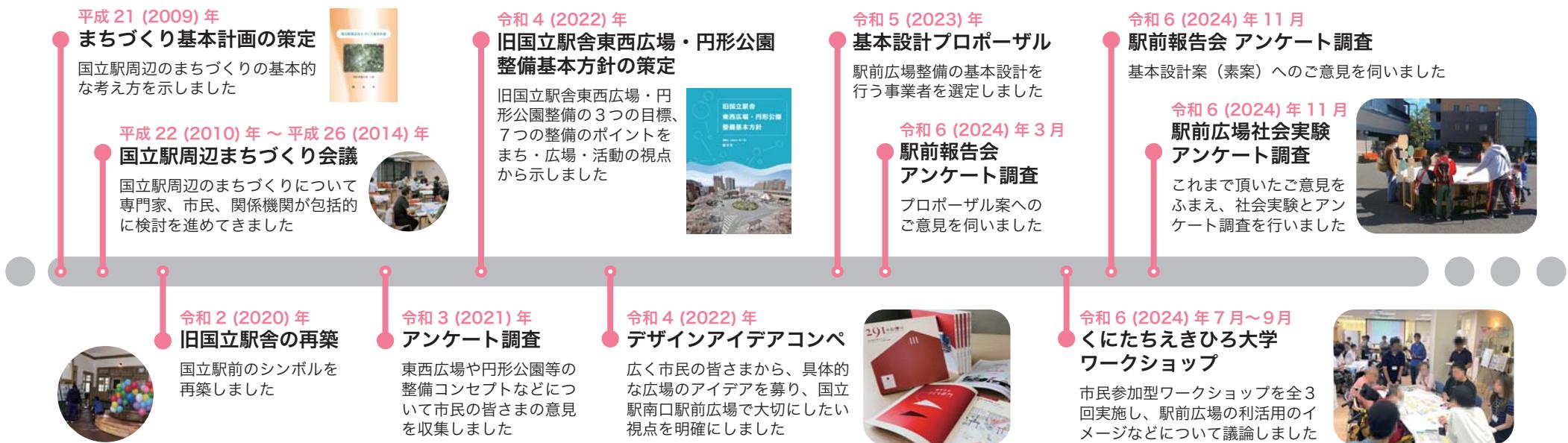
**11/16** 日

14:30~16:30

## 目次

1 駅前広場整備 これまでのあゆみ	1
2 駅前広場の現況	2
3 基本方針とコンセプト	4
4 設計方針	5
5 活動イメージ (案)	16

## 1 国立駅南口駅前広場整備 これまでのあゆみ



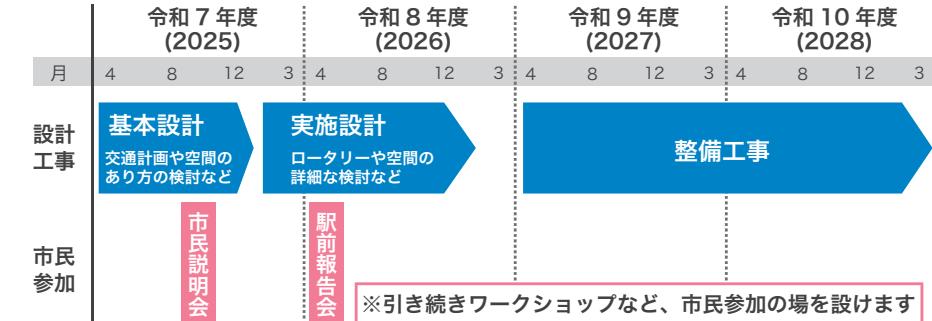
これまで

国立駅周辺の整備は、平成 21 (2009) 年「国立駅周辺まちづくり基本計画」に基づき、検討を進めています。平成 22 (2010) 年～平成 26 (2014) 年にかけては、国立駅周辺まちづくり会議でまち育て・景観・交通の3つの部会ごとに、国立駅周辺のまちづくりについて包括的に検討をしてきました。

国立駅南口駅前広場の整備については、令和 2 (2020) 年に旧国立駅舎を再築し、今後は南口ロータリー及び円形公園、東西広場の再整備を予定しています。今後の整備に向けて、令和 3 (2021) 年に整備コンセプトなどに関する市民アンケートを実施し、令和 4 (2022) 年 7 月に「旧国立駅舎東西広場・円形公園整備基本方針」を策定しました。

令和 4 (2022) 年度には「国立駅南口駅前デザインアイデアコンペ」を実施し、18 の優秀作品の選定を通じて、整備で大切にしたい視点を明確にしました。そして令和 5 (2023) 年、基本設計業務の公募型プロポーザルを実施し、事業者を選定しました。

基本設計



今後も市民の皆さまの意見や地域の意向を聞きながら、国立駅南口駅前広場が、これまでの歴史や理念を継承し、旧国立駅舎とともに「くにたち」の顔となることを目指して設計を進めています。

## 2 国立駅南口駅前広場の現況

現在の国立駅南口駅前広場全景



① 西側広場



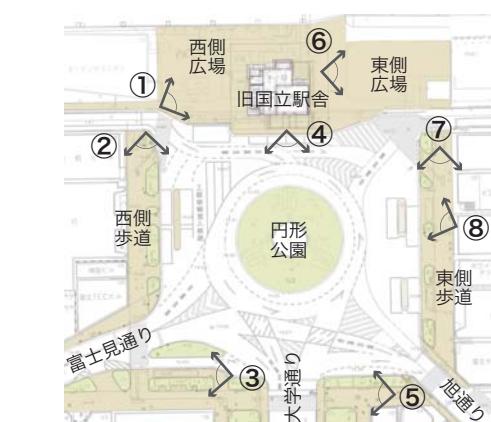
② 西側歩道



③ 富士見通り側歩道



④ 円形公園



⑤ 旭通り側歩道



⑥ 東側広場



⑦ 東側歩道



⑧ 東側歩道バス上屋



### 3 基本方針とコンセプト

#### 旧国立駅舎東西広場・円形公園整備基本方針（令和4（2022）年7月 国立市）

##### 3つの整備目標

- くにたちの拠点となる広場に
- 市民が誇りに思う誰もがくつろげる広場に
- いろいろな活動のできる広場に

##### 7つのポイント

- 旧国立駅舎のシンボル性を際立たせよう
- 駅前と國立のまちをつなげよう
- 市民が自慢できる愛着の持てる空間にしよう
- 國立らしさのある居心地の良い空間にしよう
- 多様なアクティビティで使えるようにしよう
- 安全・安心に配慮した維持管理しやすい空間にしよう
- みんなで新しい価値を生み出したくなる場所にしよう

#### コンセプト

## みんなでつくる 100 年の広場 みどりのもとに集い、まちを育む



大正 15 (1926) 年当時の國立大学町の写真  
くにたち  
写真：郷土文化館所蔵

約 100 年前、國立駅と共に大学町が生まれました。三角屋根の駅舎、水禽舎のある円形公園が特徴的な駅前広場は人々が集まる場所でした。これらは時と共に車中心の空間に変わっていきました。

現在、旧国立駅舎の再築を機に、國立駅前を人中心の空間とする機運が高まっています。そこで、駅前広場から大学通りにつながるみどりと人の空間をつくり、そこに集まる動植物も含め、それぞれが居心地よく過ごせる駅前広場をコンセプトとしました。

そして、そこに人々が関わり、様々な活動を通して考え方学ぶ場へと成長する國立駅南口駅前広場を目指します。

## 4 設計方針

### 全体 方針

- 1 みどりや人の空間を増やし、憩いやにぎわいが生まれ、人や生き物がゆっくりと過ごせる広場とします。
- 2 大学町として成長してきたまちの歴史や文化を継承します。
- 3 人の動線、緑、生き物のネットワークやにぎわいが周囲につながり、まちの回遊性を高める広場とします。
- 4 時間帯や季節による多様な使われ方、イベントや災害時利用などにも柔軟に対応できる広場とします。
- 5 ソーシャルインクルージョンの考え方に基づき、様々な人に使いやすいユニバーサルデザインの広場とします。

### 景観 のデザイン

- 1 大学通りから旧国立駅舎への眺望を尊重します。
- 2 大学通り、富士見通り、旭通りの3つの軸を活かします。
- 3 整備当初から残る円形公園の形状などを継承したデザインとします。

### 交通 のデザイン

- 1 交通機能を最適化し、コンパクトに配置します。
- 2 歩行者・自転車・車両利用者も使いやすく、安全・安心なデザインとします。
- 3 耐久性が高く、長く使用できる素材を用います。
- 4 一時的に車両通行路を切り替えることにより、大イベント時などに広い歩行空間を確保できるデザインとします。

### 広場 のデザイン

- 1 沿道と一体となって、憩いやにぎわいが生まれるデザインとします。
- 2 広場全体で憩いやにぎわいが感じられるよう、各空間同士が見通せるデザインとします。
- 3 夜間でも安全・安心な場所となるよう、適切に照明を配置します。

### 環境 のデザイン

- 1 武蔵野の気候・風土にあった植栽を増やし、大学通りのみどりにつながるデザインとします。
- 2 人々が木陰や四季の緑を楽しめるよう、駅前広場全体で効果的に緑を配置します。
- 3 既存のサクラをできる限り長生きさせつつ、将来的なサクラの更新も考慮したデザインとします。
- 4 雨水浸透を促す機能をもつグリーンインフラを活用し、災害対策と環境改善の両立を目指します。
- 5 維持管理やコストに配慮しつつ、素材のリサイクルや CO2 削減など SDGs に資するデザインとします。

### 共創 のデザイン

- 1 地域の人々や来訪者がそれぞれに合った様々な形で広場に関わることができ、愛着を持てるデザインとします。
- 2 人々が使いやすい広場とするため、多様な人々と一緒に広場のデザインを考えます。
- 3 寄せられた意見やワークショップの成果を踏まえたデザインとします。
- 4 社会実験などで使い方を試しながら、様々な活動を通して考え・学ぶ場へと成長する広場を目指します。

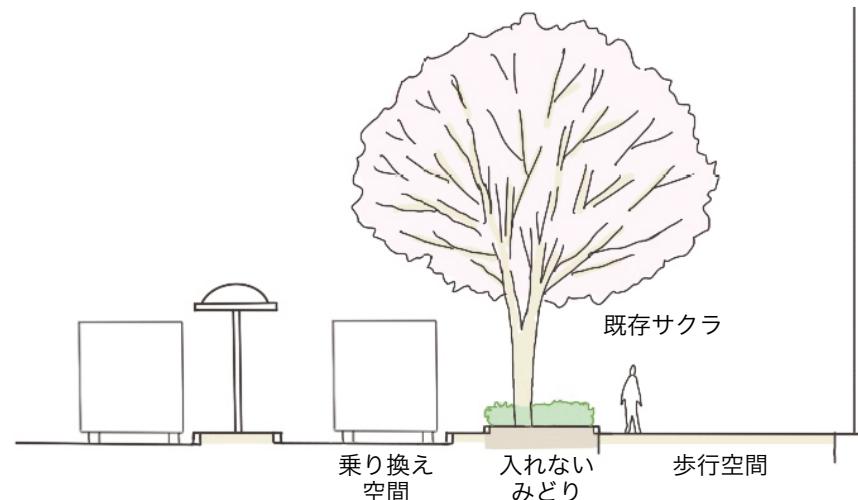
# 全体方針

- 1 みどりや人の空間を増やし、憩いやにぎわいが生まれ、人や生き物がゆっくりと過ごせる広場とします。
- 2 大学町として成長してきたまちの歴史や文化を継承します。
- 3 人の動線、緑、生き物のネットワークやにぎわいが周囲につながり、まちの回遊性を高める広場とします。
- 4 時間帯や季節による多様な使われ方、イベントや災害時利用などにも柔軟に対応できる広場とします。
- 5 ソーシャルインクルージョンの考え方に基づき、様々な人に使いやすいユニバーサルデザインの広場とします。

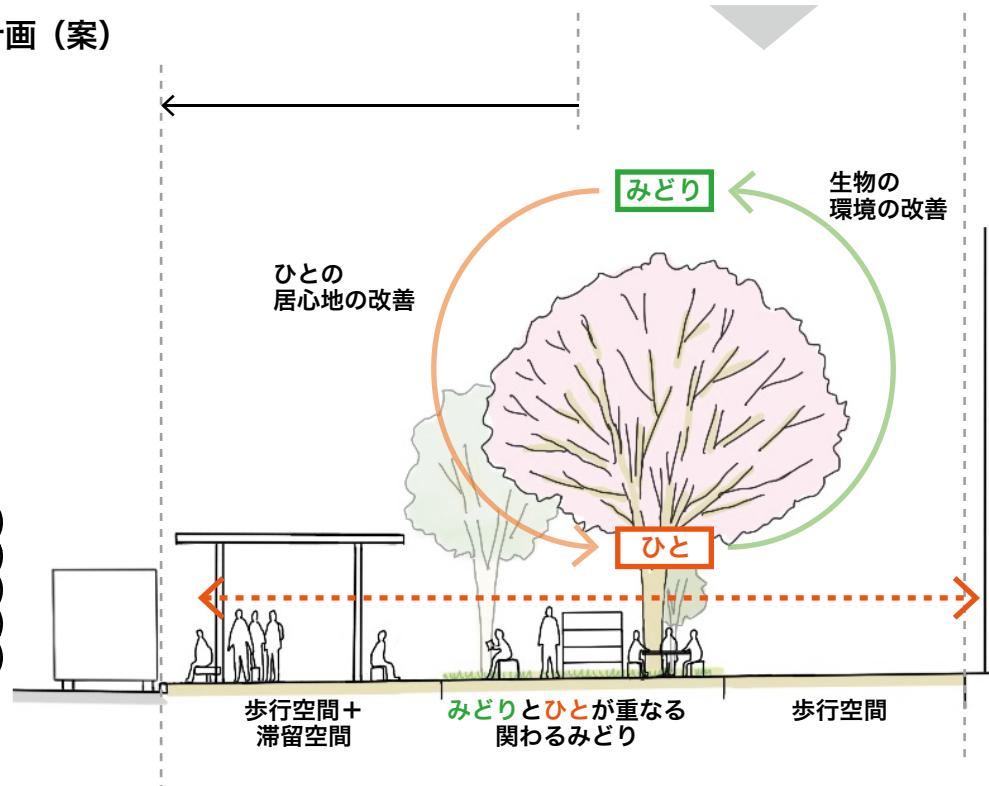
## 計画イメージ（案）



## 現況



## 計画（案）



1 みどりや人の空間を増やし、憩いや  
にぎわいが生まれ、人や生き物がゆ  
っくりと過ごせる広場とします。  
→ 歩道空間を広げ、  
みどりとひとの空間をふやします  
**みどり環境**

2 大学町として成長してきた  
まちの歴史や文化を継承します。  
→ 旧国立駅舎、三つの街路軸、  
円形公園などを大切にします  
**歴史**

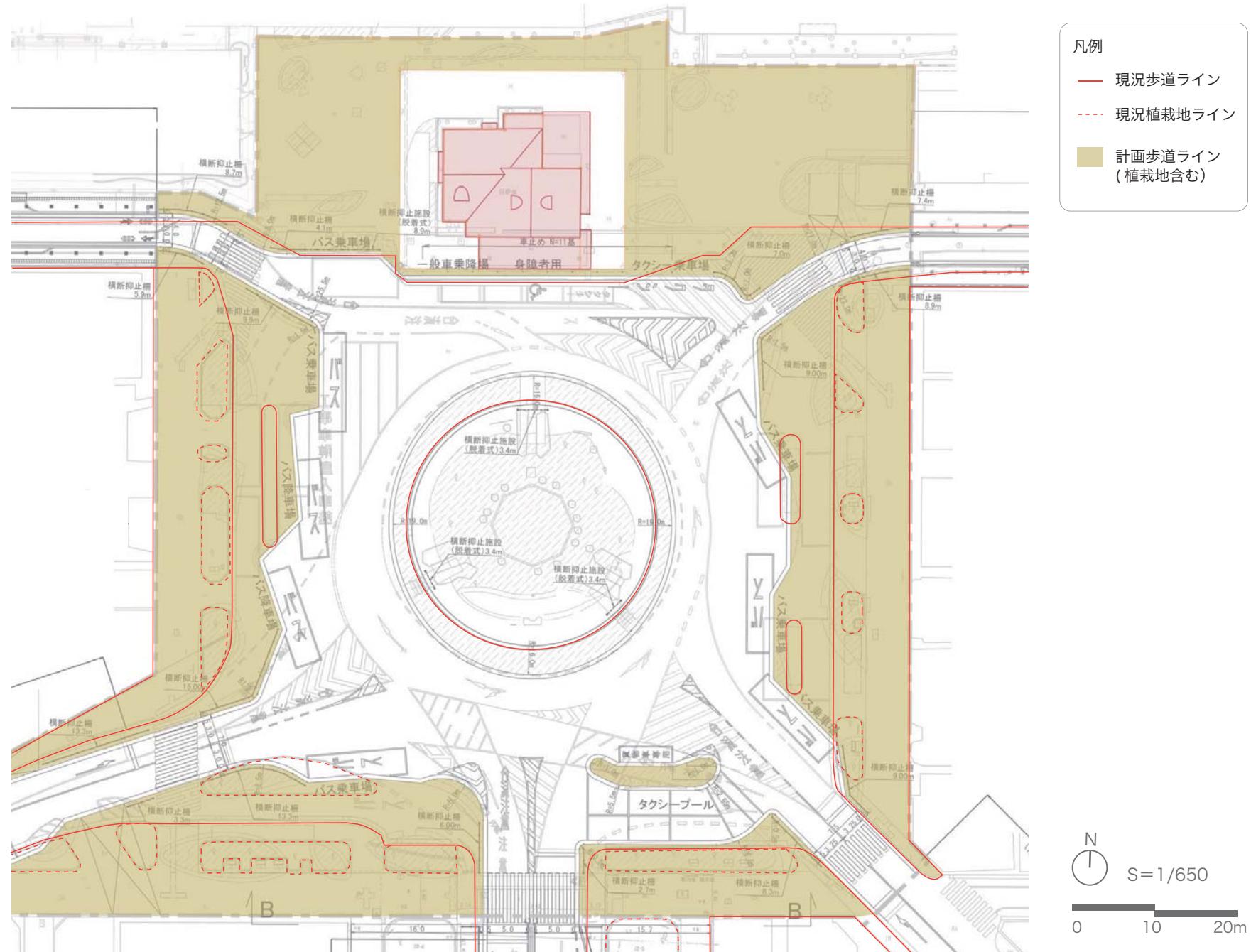
3 人の動線、緑、生き物のネットワークや  
にぎわいが周囲につながり、まちの回遊  
性を高める広場とします。  
→ 既存のサクラを活かしたみどりとひと  
の空間が周囲のまちにつながります  
**まちづくり**

4 時間帯や季節による多様な使われ方、  
イベントや災害時利用などにも柔軟  
に対応できる広場とします。  
→ 市民が様々に関わり学べる  
広場・みどり空間とします  
**教育**

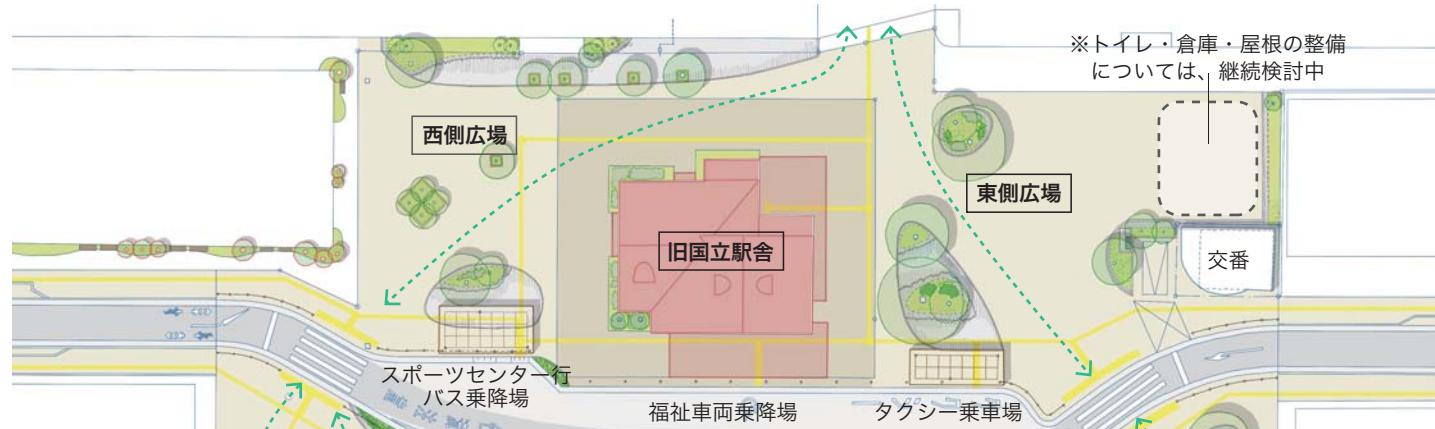
5 ソーシャルインクルージョンの考え方方  
に基づき、様々な人に使いやすいユニバー  
サルデザインの広場とします。  
→ 段差がなく、ベビーカー、車いす  
なども移動しやすい歩行空間とします  
**福祉**

※今後、関係者協議を進める中で、変更する場合があります。

## 現況・計画重ね図



## 全体平面図（案）



凡例
既存樹木 (Existing trees)
新植樹木 (Newly planted trees)
歩行空間 (Pedestrian space)
歩行者動線 (Pedestrian movement lines)

## 現況平面図



① 西側広場



② 西側歩道



③ 富士見通り側歩道



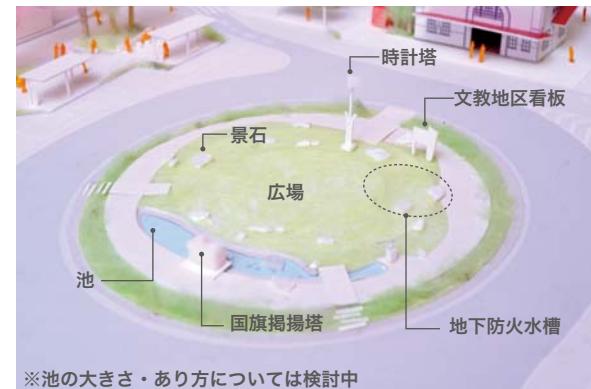
④ 東側広場



⑤ 東側歩道



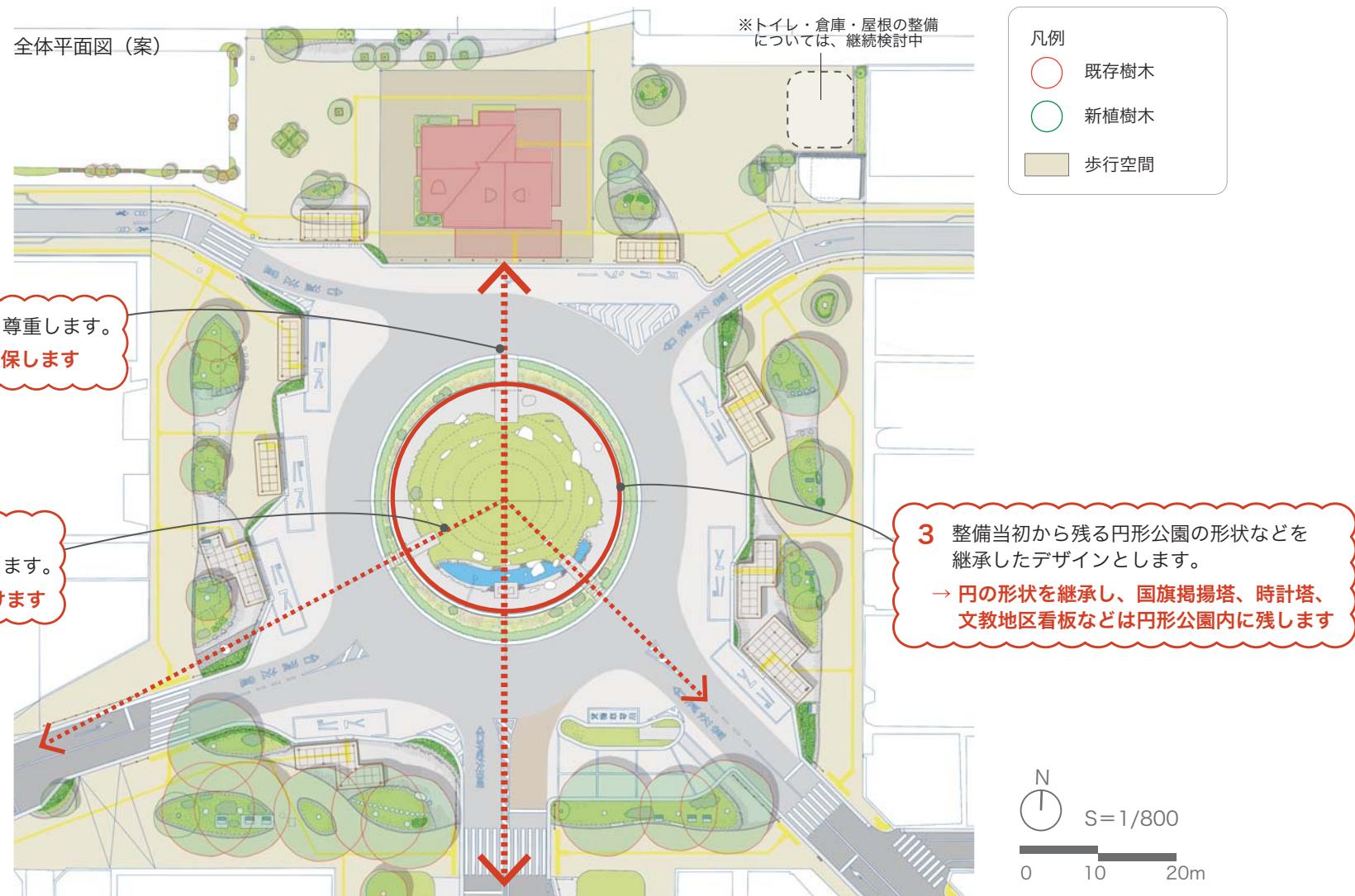
⑥ 円形公園



※今後、関係者協議を進める中で、変更する場合があります。※大学通りの1車線化との接続部分は道路管理者及び交通管理者と協議中です。

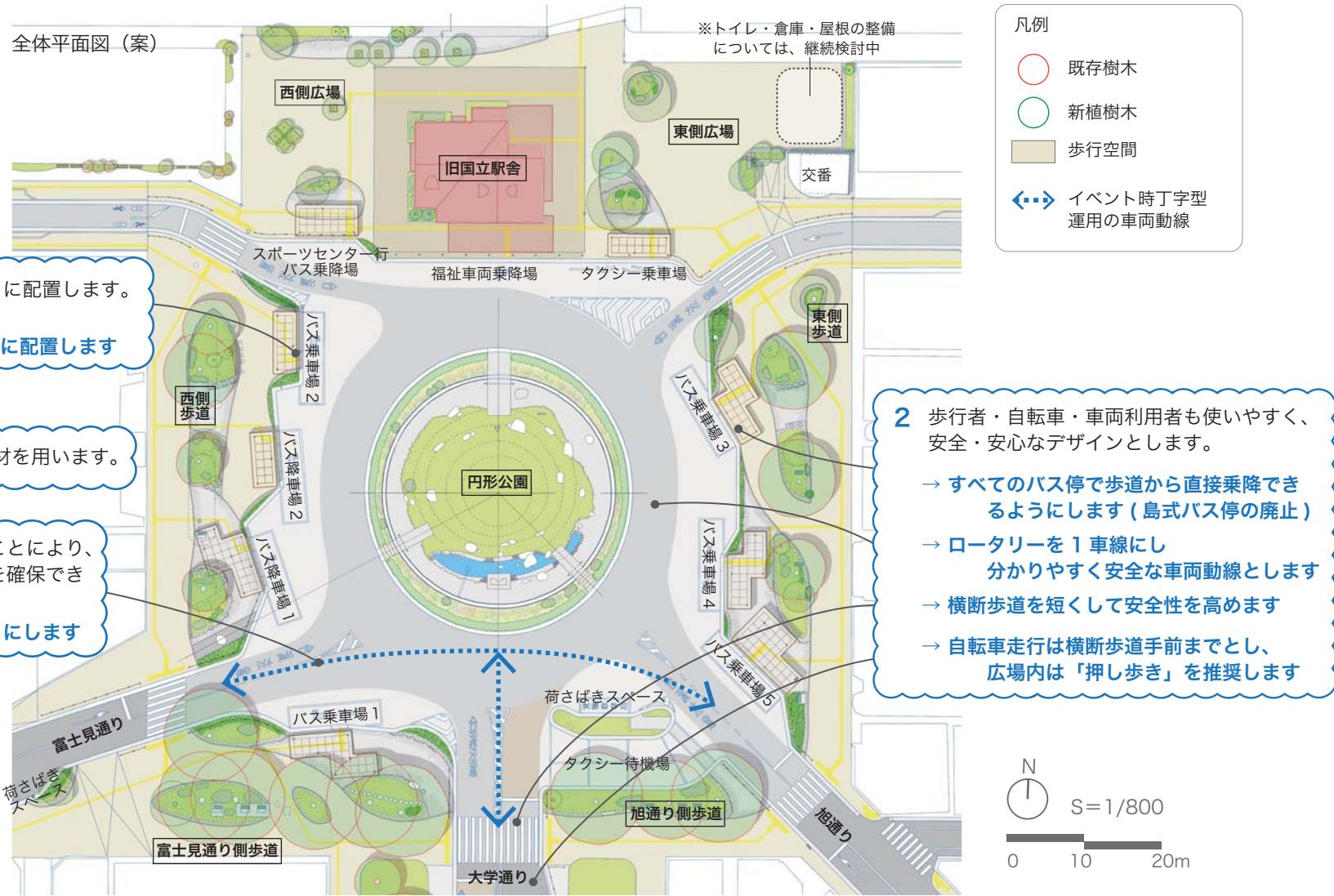
## 景観 のデザイン

- 1 大学通りから旧国立駅舎への眺望を尊重します。
- 2 大学通り、富士見通り、旭通りの3つの軸を活かします。
- 3 整備当初から残る円形公園の形状などを継承したデザインとします。



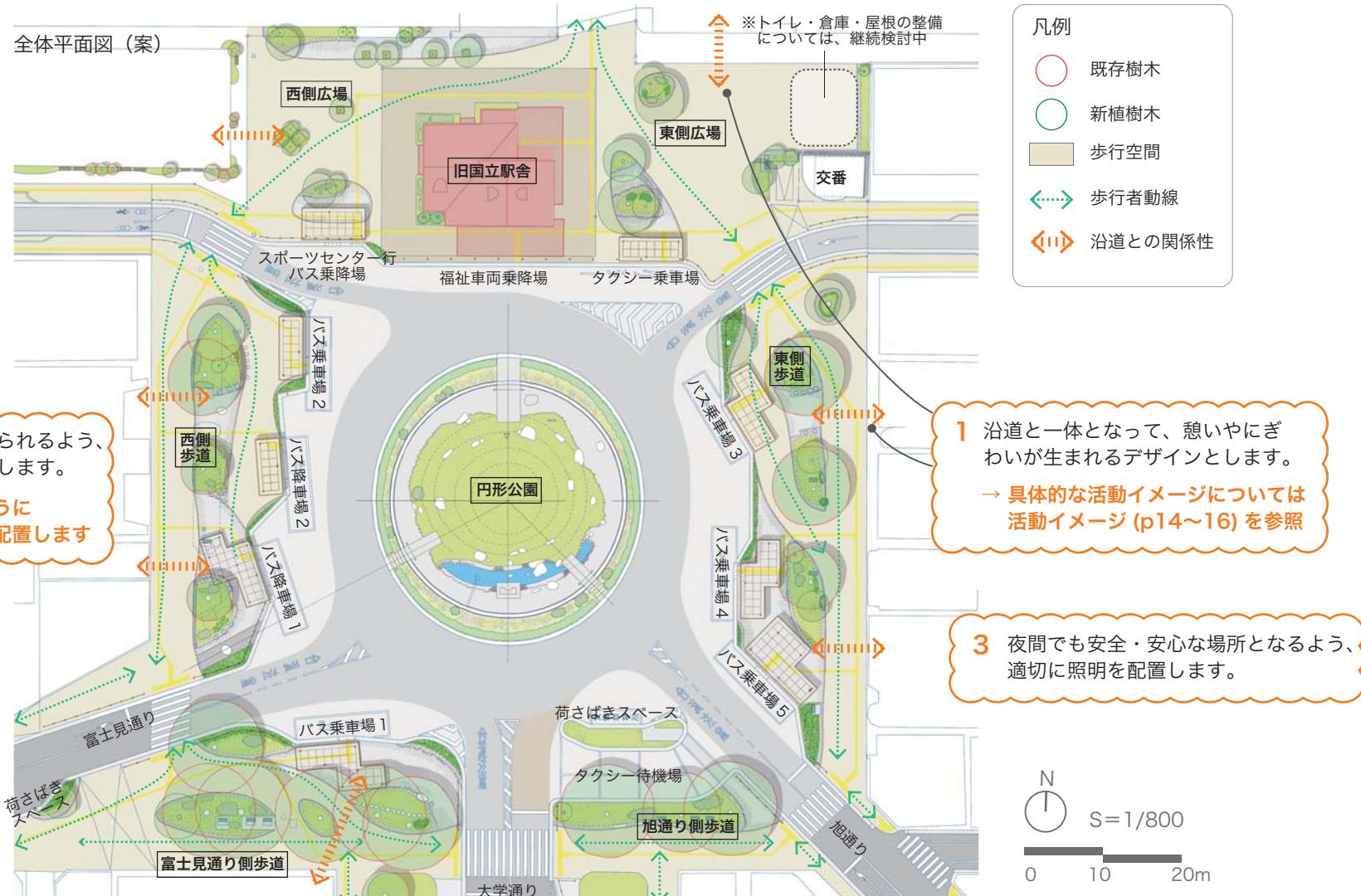
# 交通 のデザイン

- 1 交通機能を最適化し、コンパクトに配置します。
- 2 歩行者・自転車・車両利用者も使いやすく、安全・安心なデザインとします。
- 3 耐久性が高く、長く使用できる素材を用います。
- 4 一時的に車両通行路を切り替えることにより、大イベント時などに広い歩行空間を確保できるデザインとします。



# 広場 のデザイン

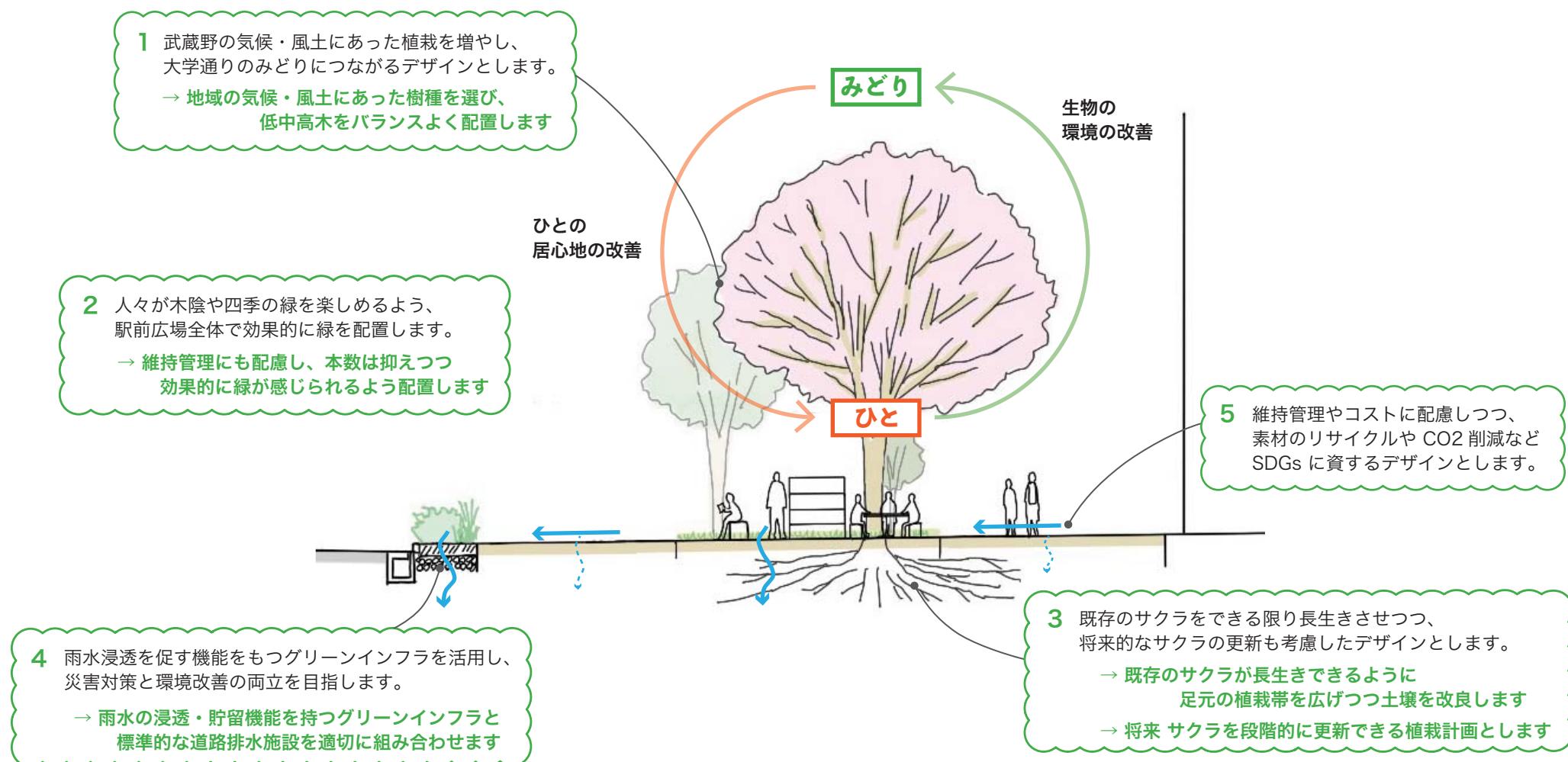
- 沿道と一緒に、憩いやにぎわいが生まれるデザインとします。
- 広場全体で憩いやにぎわいが感じられるよう、各空間同士が見通せるデザインとします。
- 夜間でも安全・安心な場所となるよう、適切に照明を配置します。



※今後、関係者協議を進める中で、変更する場合があります。  
※大学通りの1車線化との接続部分は道路管理者及び交通管理者と協議中です。

## 環境 のデザイン

- 1 武蔵野の気候・風土にあった植栽を増やし、大学通りのみどりにつながるデザインとします。
- 2 人々が木陰や四季の緑を楽しめるよう、駅前広場全体で効果的に緑を配置します。
- 3 既存のサクラをできる限り長生きさせつつ、将来的なサクラの更新も考慮したデザインとします。
- 4 雨水浸透を促す機能をもつグリーンインフラを活用し、災害対策と環境改善の両立を目指します。
- 5 維持管理やコストに配慮しつつ、素材のリサイクルや CO2 削減など SDGs に資するデザインとします。



※今後、関係者協議を進める中で、変更する場合があります。

# 共創 のデザイン

- 1 地域の人々や来訪者がそれぞれに合った様々な形で広場に関わることができ、愛着を持てるデザインとします。
- 2 人々が使いやすい広場とするため、多様な人々と一緒に広場のデザインを考えます。
- 3 寄せられた意見やワークショップの成果を踏まえたデザインとします。
- 4 社会実験などで使い方を試しながら、様々な活動を通して考え・学ぶ場へと成長する広場を目指します。

## ▼ 基本設計以降の市民参加および市の取り組み

### 令和6（2024）年

- 2月：花植えイベント（8名）  
3月：駅前報告会（1493名）  
3月：QR式アンケート（97件）  
3月：ヘブンアーティスト  
3月：賑わい創出イベント ×  
nonowa 国立SOUTH開業イベント  
3月：市民説明会（心遊会）（15名）  
5月：利用状況調査2回目

- 6月：しょうがいしゃ団体ヒアリング  
(9団体 93名 / 108件)  
6月：リカバリーマーケット  
6月：防災フェスタ  
7月：ミストシャワー設置（西側広場）  
7月：ミストシャワーアンケート（34件）  
7月：ノミノイチ  
8月：盆踊り大会

- 8月：ミストシャワー設置（東側広場）  
9月：本祭り  
9月：利用状況調査3回目  
10月：可動式緑化ベンチ樹木植替  
10月：花植えイベント（16名）  
11月：利用状況調査4回目  
11月：駅前報告会（943名）  
12月：えきひろシネマ

### 令和7（2025）年

- 2月：利用状況調査5回目  
2月：商店会長連絡会での説明（11名）  
3月：各商店会員への説明（13名）  
3月：ヘブンアーティスト  
3月：駅前報告会（150名）

### 令和8（2026）年以降

令和8（2026）年1月  
実施設計開始予定

### 基本設計



3 寄せられた意見やワークショップの成果を踏まえたデザインとします。

令和6（2024）年3月  
パネルシール式アンケート（899件）



1 地域の人々や来訪者がそれぞれに合った様々な形で広場に関わることができ、愛着を持てるデザインとします。

→ 地域の人の関わりしろと一緒に考えていきます

令和6（2024）年7-9月  
くにたちえきひろ大学ワークショップ3回（85名）



2 人々が使いやすい広場とするため、多様な人々と一緒に広場のデザインを考えます。

→ 多様な人々と一緒に考え・実践する場  
『くにたちえきひろ大学』で一緒に考えます

令和6（2024）年11月

くにたちえきひろ大学社会実験（3179件）  
+ 駅前報告会（1441件）+ ロータリー交通社会実験



4 社会実験などで使い方を試しながら、様々な活動を通して考え・学ぶ場へと成長する広場を目指します。

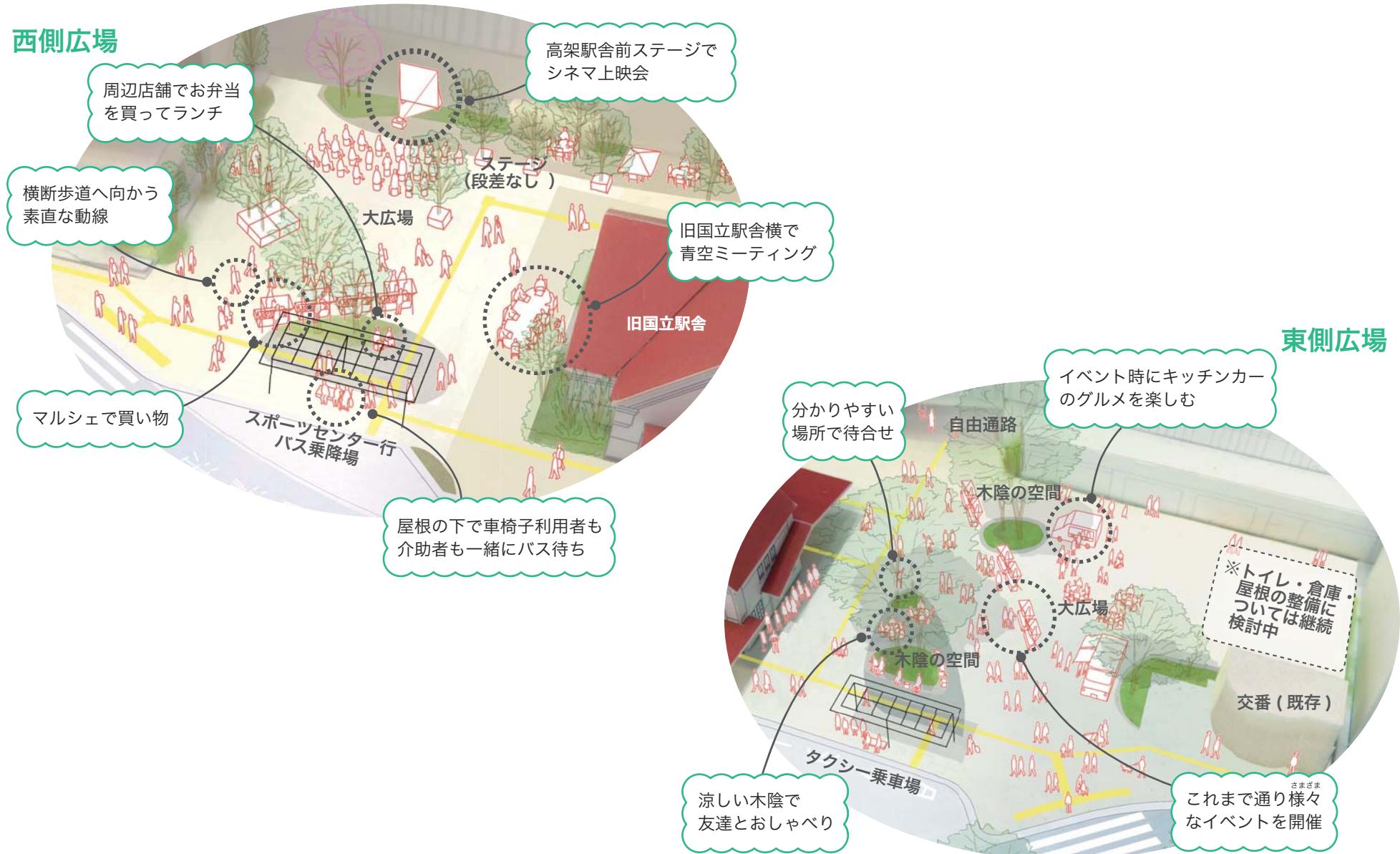
→ 設計段階と整備段階において  
社会実験や各種イベントで実際に試しづかいをします

### 実施設計

### 整備

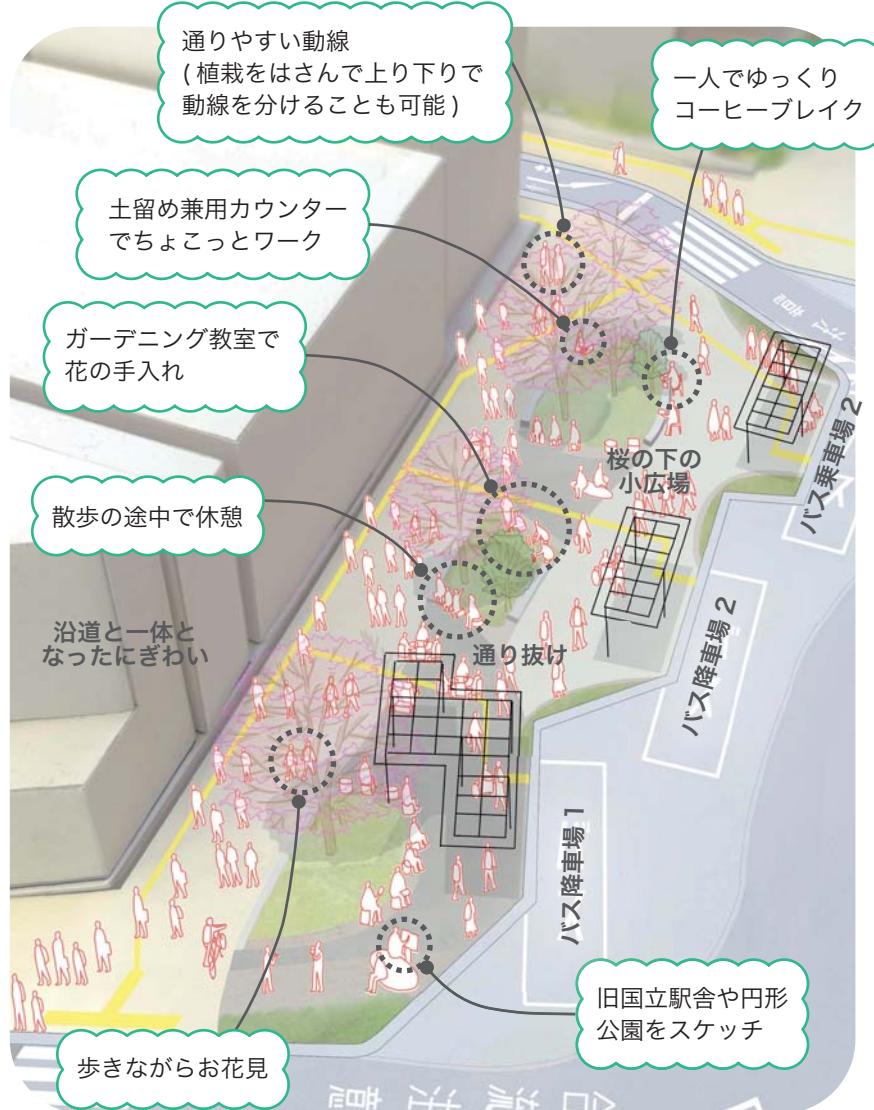
現在 令和7（2025）年10月

## 5 活動イメージ（案）

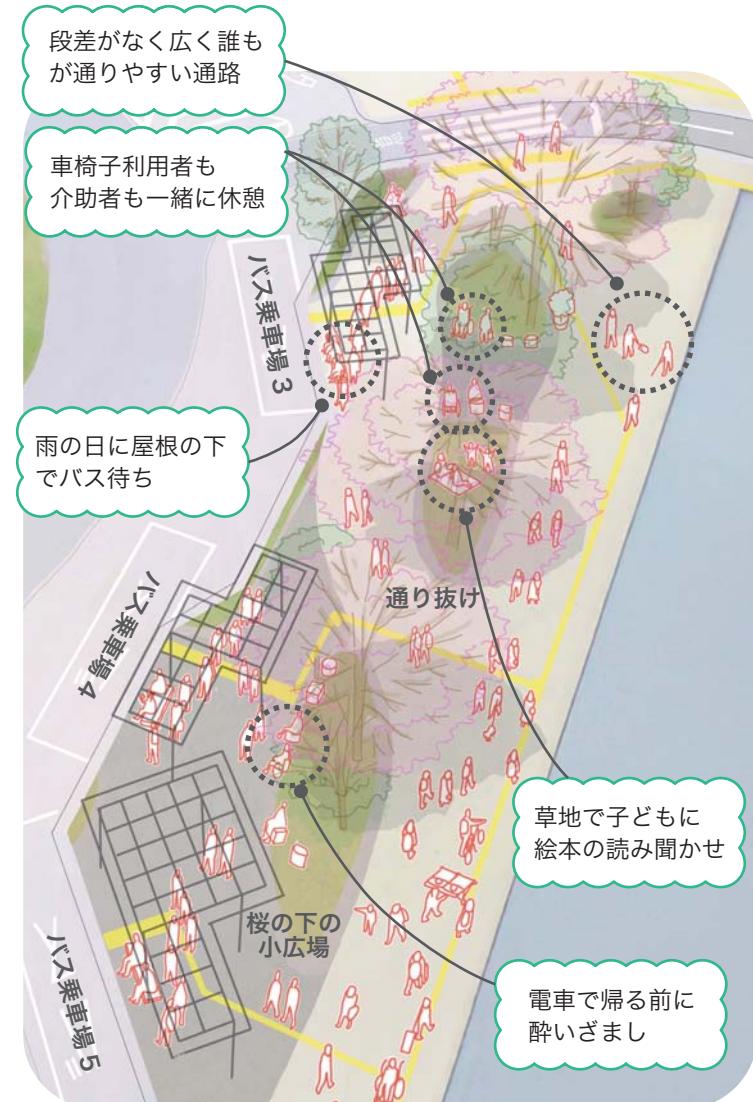


※今後、関係者協議を進める中で、変更する場合があります。

## 西側歩道



## 東側歩道



※今後、関係者協議を進める中で、変更する場合があります。

## 円形公園

## 【日常のイメージ】



※池の大きさ・あり方については検討中です。

## 【イベント時の利活用イメージ】



※円形公園での盆踊り開催には交通管理者ほか関係者との調整が必要です。

## 富士見通り側歩道

## 富士見通り

## 広場全体が見える

## 桜の下の小広場

## 横断歩道

## 子ども昆虫観察ワークショップ

## 荷さばきスペース

## タクシー待機場

## 旭通り

横断歩道に向かう  
自然で通りやすい動線

子どもの迎えの帰り  
に子連れトーク

テイクアウトして  
おしゃべり

涼しい木陰で  
ゆったり憩い

旧国立駅舎や円形  
公園をスケッチ

## 旭通り側歩道

※今後、関係者協議を進める中で、変更する場合があります。  
※大学通りの1車線化との接続部分は道路管理者及び交通管理者と協議中です。